



2023年3月期 第2四半期 決算説明会

2022年11月29日

能美防災株式会社 **NOHMI**

期待の先をカタチに



transformation

1. 2023年3月期 第2四半期 (2022年4月～9月) 連結決算概要



受注高は第2四半期の過去最高を更新

受注高は全般的に堅調に推移
前期に引き続き、2期連続で第2四半期としての過去最高を更新

売上高は概ね計画の範囲内で推移

前期に比較的採算性の高い案件が集中していたことから減収減益
一部の物件で進捗遅れがみられたものの、売上高は概ね計画の範囲内で推移

計画よりも減益幅が拡大

前期に案件が集中していたことに加え、好採算物件の進捗遅れや、
部品の供給制約の影響などにより、計画よりも減益幅が拡大

2023年3月期 第2四半期 連結業績

(百万円)

	2022/3 2Q	2023/3 2Q		前期比		計画比	
	実績	計画	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	63,723	60,000	65,103	+1,380	+2.2%	+5,103	+8.5%
売上高	49,999	44,600	43,918	△6,081	△12.2%	△681	△1.5%
売上原価率	67.3%	68.9%	71.1%	+3.8pt	—	+2.2pt	—
売上総利益	16,345	13,850	12,691	△3,653	△22.4%	△1,158	△8.4%
販管費	11,706	12,450	12,201	+494	+4.2%	△248	△2.0%
営業利益	4,639	1,400	490	△4,148	△89.4%	△909	△65.0%
売上高営業利益率	9.3%	3.1%	1.1%	△8.2pt	—	△2.0pt	—
経常利益	4,898	1,500	684	△4,213	△86.0%	△815	△54.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,373	950	406	△2,967	△88.0%	△543	△57.2%
EPS (円)	55.94	15.75	6.74				

セグメント別売上高・利益

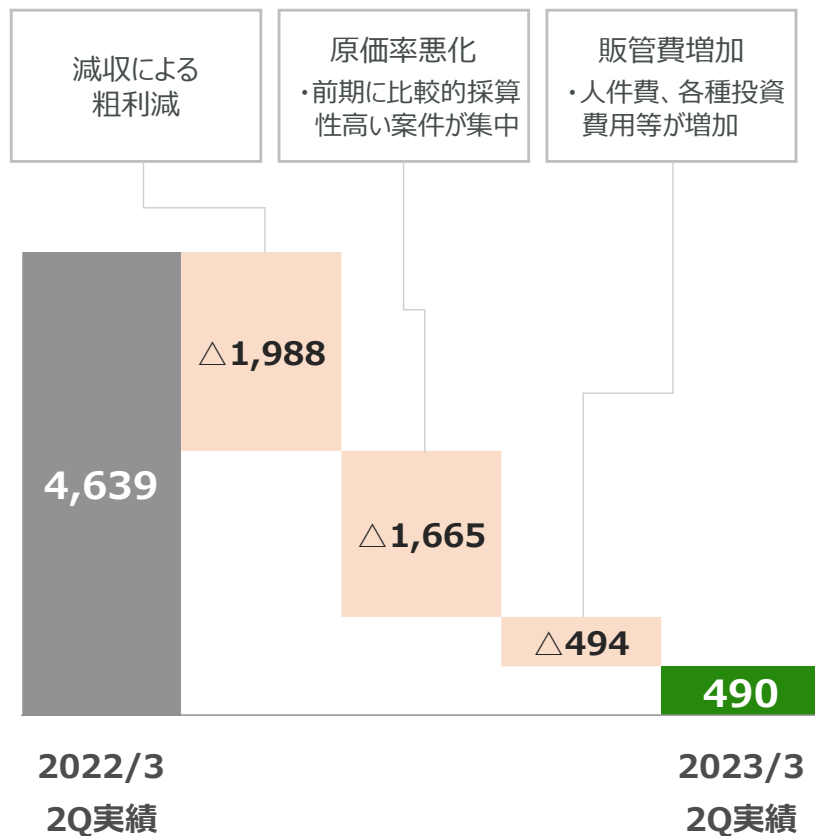
(百万円)

		2022/3 2Q	2023/3 2Q	前期比	
		実績	実績	増減額	増減率
火災報知設備	売上高	19,000	15,914	△3,085	△16.2%
	セグメント利益	4,083	1,130	△2,953	△72.3%
	(利益率)	(21.5%)	(7.1%)	(△14.4pt)	—
消火設備	売上高	17,156	14,277	△2,878	△16.8%
	セグメント利益	2,279	1,365	△913	△40.1%
	(利益率)	(13.3%)	(9.6%)	(△3.7pt)	—
保守点検等	売上高	11,616	11,510	△106	△0.9%
	セグメント利益	1,836	1,635	△200	△10.9%
	(利益率)	(15.8%)	(14.2%)	(△1.6pt)	—
その他	売上高	2,377	2,362	△15	△0.6%
	セグメント利益	△36	105	+141	—
	(利益率)	(△1.5%)	(4.4%)	(+5.9pt)	—
消去または全社	売上高	△151	△146	+5	—
	セグメント利益	△3,523	△3,746	△222	—
連結	売上高	49,999	43,918	△6,081	△12.2%
	営業利益	4,639	490	△4,148	△89.4%

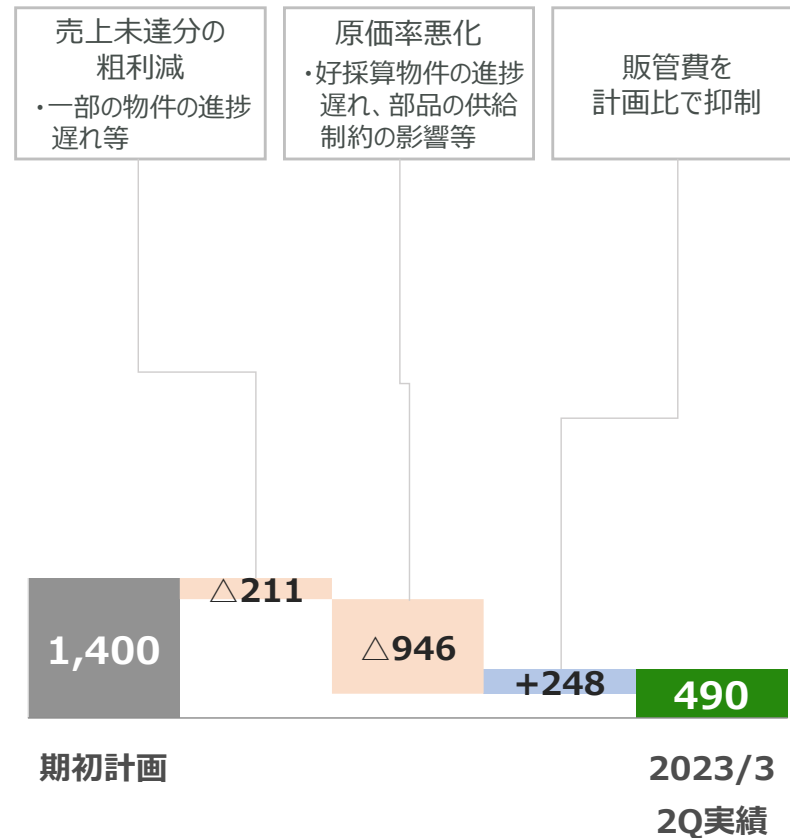


営業利益増減分析

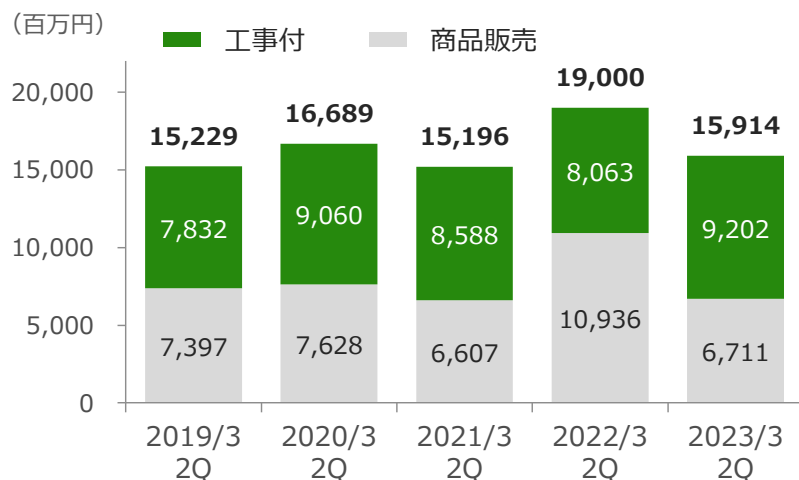
対前期比 (百万円)



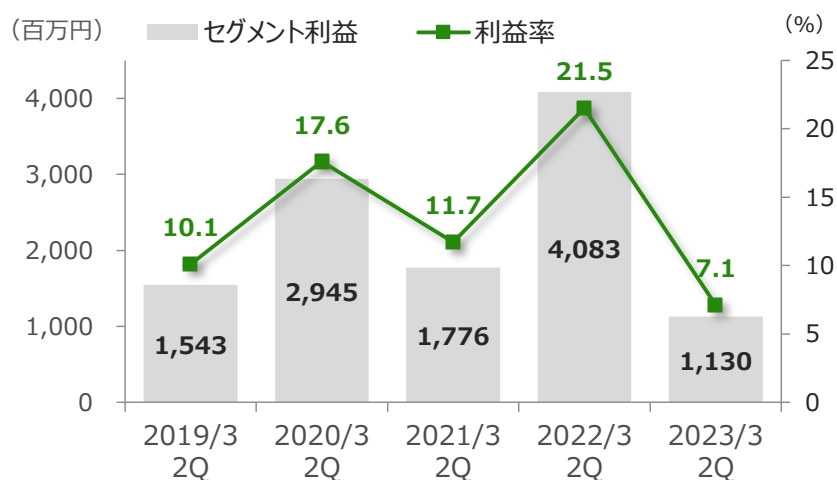
対計画比 (百万円)



売上高（消去前）



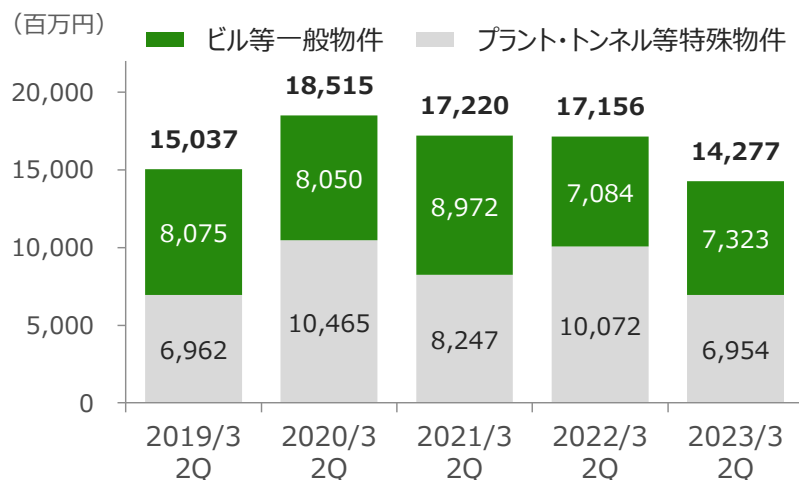
セグメント利益／利益率



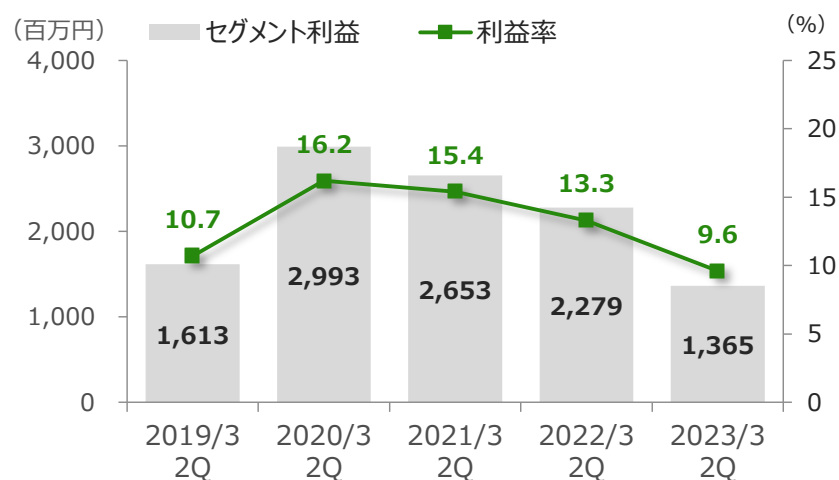
(百万円)	2022/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	前期比 (%)
受注高	24,091	21,824	△9.4
受注残高	14,534	18,488	+27.2
売上高	19,000	15,914	△16.2
工事付	8,063	9,202	+14.1
商品販売	10,936	6,711	△38.6
セグメント利益	4,083	1,130	△72.3

- 前期に比較的採算性の高い案件が集中していたことから、売上高、利益ともに減少。
- 部品の供給制約の影響などから、減益幅は想定よりも拡大。
- 受注環境は堅調に推移しており、受注残高は高水準。

売上高（消去前）



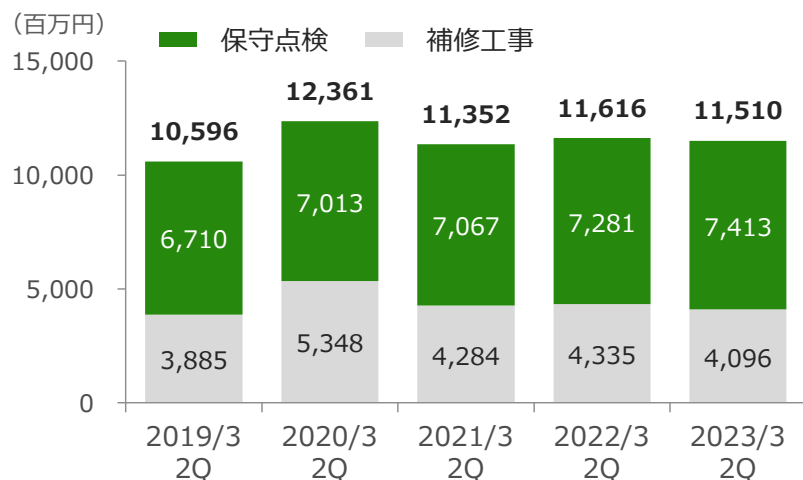
セグメント利益／利益率



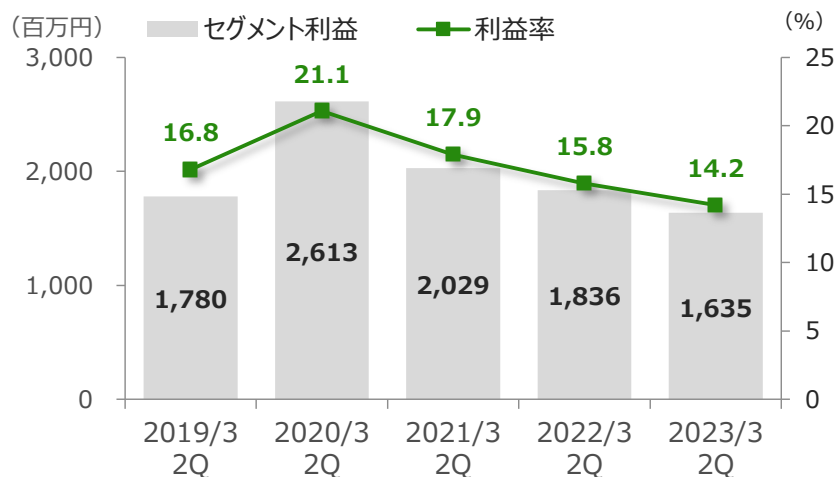
(百万円)	2022/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	前期比 (%)
受注高	18,820	20,676	+9.9
受注残高	40,262	38,503	△4.4
売上高	17,156	14,277	△16.8
一般物件	7,084	7,323	+3.4
特殊物件	10,072	6,954	△31.0
セグメント利益	2,279	1,365	△40.1

- 期首時点の受注残高が前期に比べ2割程度低い水準であったことなどを背景に減収減益。
- 一部の物件で進捗遅れがみられ、比較的採算性の高い物件の計上が予想よりも少なくなった。
- 受注高は堅調に推移。

売上高（消去前）



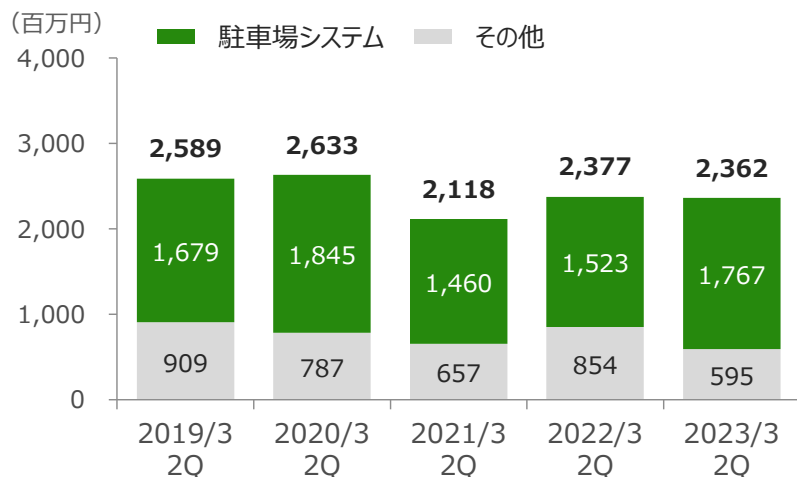
セグメント利益／利益率



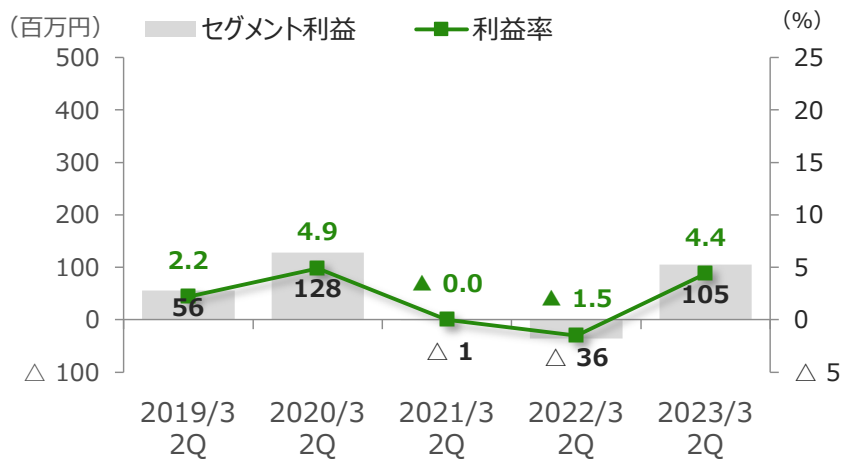
(百万円)	2022/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	前期比 (%)
受注高	18,318	20,128	+9.9
受注残高	10,298	12,983	+26.1
売上高	11,616	11,510	△0.9
保守点検	7,281	7,413	+1.8
補修工事	4,335	4,096	△5.5
セグメント利益	1,836	1,635	△10.9

- 売上高は安定的に推移しており、前期に比べてほぼ横ばい。
- 一部の物件で進捗遅れがみられたことなどから、売上高、利益とも計画を下回った。
- 受注高、受注残高ともに高水準。

売上高（消去前）



セグメント利益／利益率



(百万円)	2022/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	前期比 (%)
受注高	2,492	2,473	△0.7
受注残高	998	1,614	+61.7
売上高	2,377	2,362	△0.6
駐車場システム	1,523	1,767	+16.0
その他	854	595	△30.3
セグメント利益	△36	105	—

- 新型コロナウイルスの影響から回復傾向にあり、受注高、売上高は横ばいも、利益は増加。

期待の先をカタチに



transformation

2. 能美防災グループ 中長期ビジョン2028 ～ 期待の先をカタチに ～



中長期ビジョン2028

2020年3月期
～2022年3月期

ステージⅠ
前中期経営計画

2023年3月期
～2025年3月期

ステージⅡ
新中期経営計画

2026年3月期
～2029年3月期

ステージⅢ

...

スタートにあたって、中長期ビジョンステートメントを策定。
長期的に目指す方向性を明確化。

※中長期ビジョンステートメントについてはP15を参照

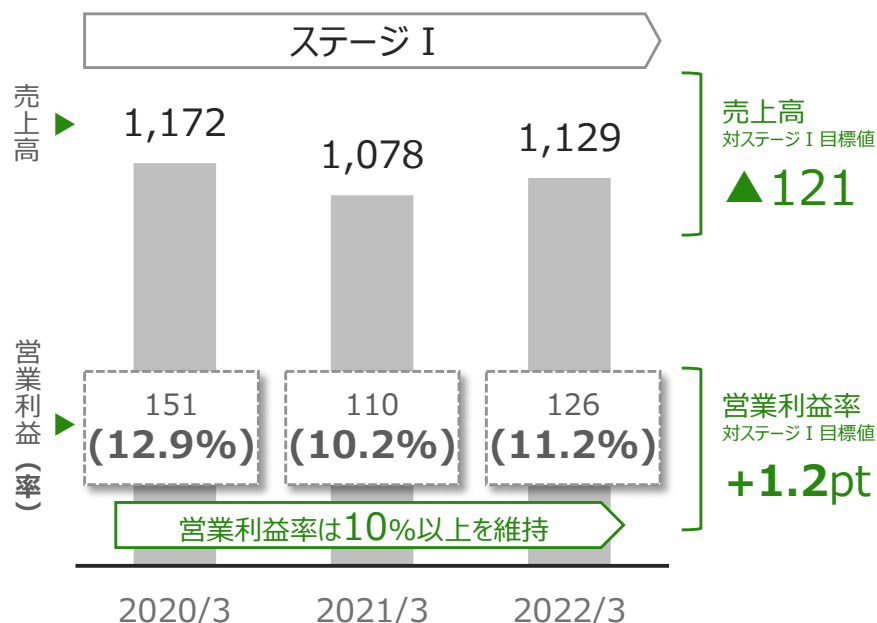
強靱な「現場力」を礎に飛躍的成長へ

重点方針

①人財力の向上 ②事業構想力・遂行力/オペレーションの精度とスピードの向上 ③グループ経営の強化

連結売上高・営業利益(率)推移

(単位：億円)



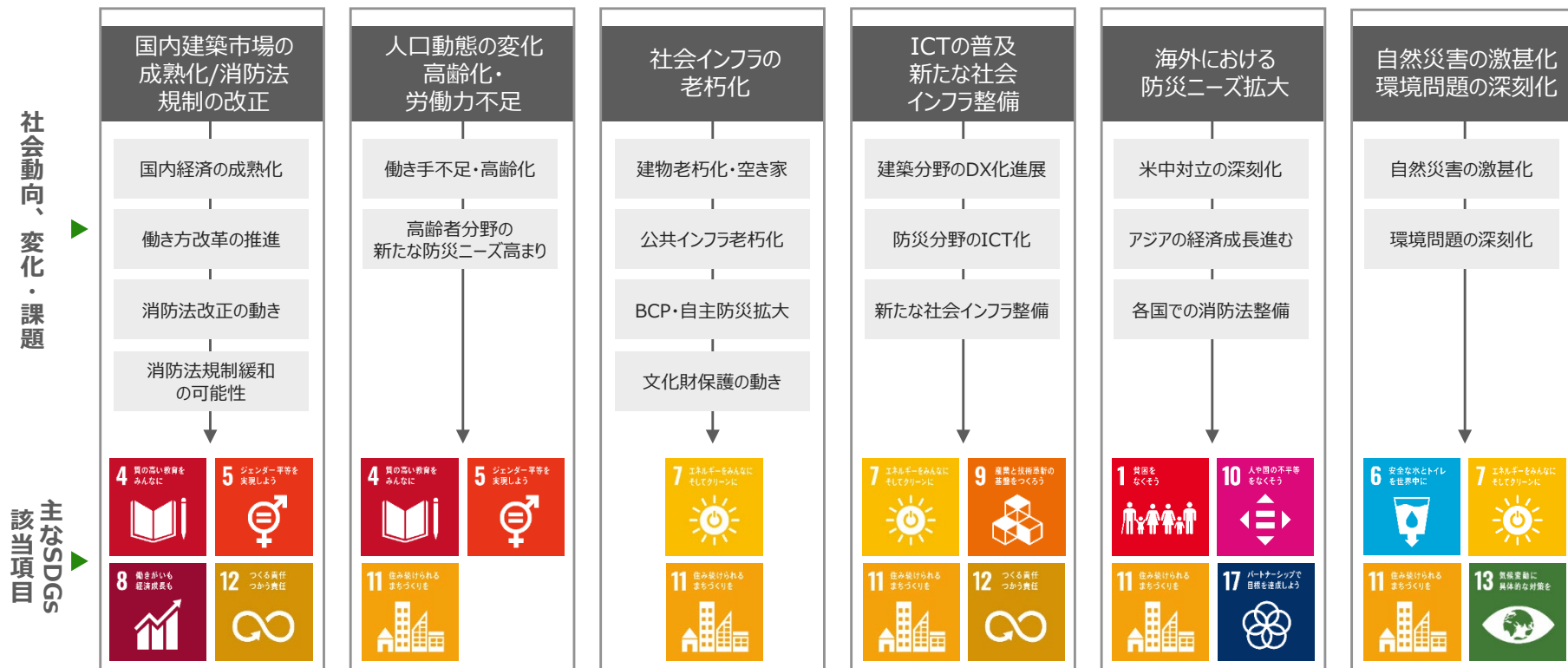
出来たこと

- 誰もが挑戦志向を持って明るく元気にイキイキと働ける風土が醸成されてきた
- アクションプランのPDCAサイクル徹底によってKPIマネジメントが根付いた
- エンゲージメントサーベイによって定性面での改善活動が根付いた
- 移動制限下におけるデジタル化の加速によって場所を選ばない働き方の導入が進んだ
- クロストレーニング制度なども活用し人財のスキル向上を計画的に行うことが一部の部門で根付いてきた
- キャリアプランの可視化によって人財の計画的育成が強化された

課題が残ったこと

- 新領域探索でも既存領域深耕でも新しいチャレンジが許容される仕組みづくり
- 海外事業の強化（コロナによる渡航規制で足踏み）
- 工事、メンテナンス部門を中心とした残業削減対策
- 無駄な業務を取り止めて効率を上げるための業務の棚卸し
- ローテーションによる多能工化
- 既存領域深耕だけでなく新領域拡大にも合致した人事評価制度への移行

外部環境認識



ありたい
社会像

自社の
ありたい姿

大切な命や財産・環境を守り、誰もが笑顔で暮らせる社会を実現する

既存事業領域を中心に
独自防災システムを提供

お客様の課題を起点に
最適防災ソリューションを提供

防災監視のあらゆるシーンで
お客様の課題解決を支援

高齢化・人手不足に対応した
施工・メンテナンス体制確立

総合防災メーカーとして
災害全般へ事業領域拡大



中長期ビジョンステートメント

期待の先をカタチに



transformation

「**期待の先**」にある安全を「**カタチ**」にし、
誰もが笑顔で暮らせる社会を実現する

大切な命や財産・環境を守り、誰もが安全を享受し笑顔で暮らせる社会を実現します。

そのために「**期待の先**」にある安全を、お客様とともに「**カタチ**」にしていき、
あらゆる場所へ届け、防災を常にリードしていく会社でありたい、それが私たちの思いです。

一人ひとりが「防災事業のパイオニアとしての使命」を自覚して、
能美グループを支えてくださる皆様の声に真摯に耳を傾け「**期待の先**」を感じ取る
洞察力を磨きながら探究心を持って活動していくことで目標を実現していきます。



<中長期ビジョンステートメント>

期待の先をカタチに



transformation

「期待の先」にある安全を「カタチ」にし、誰もが笑顔で暮らせる社会を実現する

自社のありたい姿

➡ 1

既存事業領域を
中心に独自防災
システムを提供

➡ 2

お客様の課題を
起点に最適防災
ソリューションを提供

➡ 3

防災監視のあらゆる
シーンでお客様の
課題解決を支援

➡ 4

高齢化・人手不足に
対応した施工・
メンテナンス体制確立

➡ 5

総合防災メーカー
として災害全般へ
事業領域拡大

中長期ビジョンステートメント実現に向けて

「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

人財・組織の知向上

飛躍的成長への人事戦略



個人と会社の成長サイクルを加速させ、
飛躍的成長を実現する

⇒P20参照

お客様との共創

未来共創プロジェクト



お客様への提案のカタチを変革し
提供価値を向上させる

⇒P18参照

成長への投資

未来投資計画



未来に向けた研究開発・M&A・設備・
人財・環境投資を計画

⇒P21参照

デジタルトランスフォーメーション（DX）

⇒P23参照

安定した製品・サービス供給体制をより強固にするサプライチェーンの実現

サステナビリティ経営推進による企業価値向上を前提とした課題対応

⇒P24参照

より高い付加価値を創造できる企業への変革

「未来共創プロジェクト」を中心とした社会課題の解決

「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

飛躍的成長への人事戦略

未来共創プロジェクト

未来投資計画



事業の深耕と探索

(既存領域の深耕と新領域の探索)

既存領域・新領域ともに、ソリューションの卵を創出し、育成し続ける活動を仕組みとして根付かせ、次世代の柱となる事業へ成長させる

社会課題の
解決を前提に
視座を高く

アイデアが
出続ける仕組み
を構築

アイデア育成を
応援し続ける
風土醸成

事業化に向けた継続的な投資



提案型人財の育成

お客様が「あったらいいな」と感じている期待の先を洞察し、自社の技術力・可能性や、他社の技術との紐づけからソリューションを創出できる人財を育成する

お客様の
本質的な課題
を洞察する力

0 から 1 を
発想する力

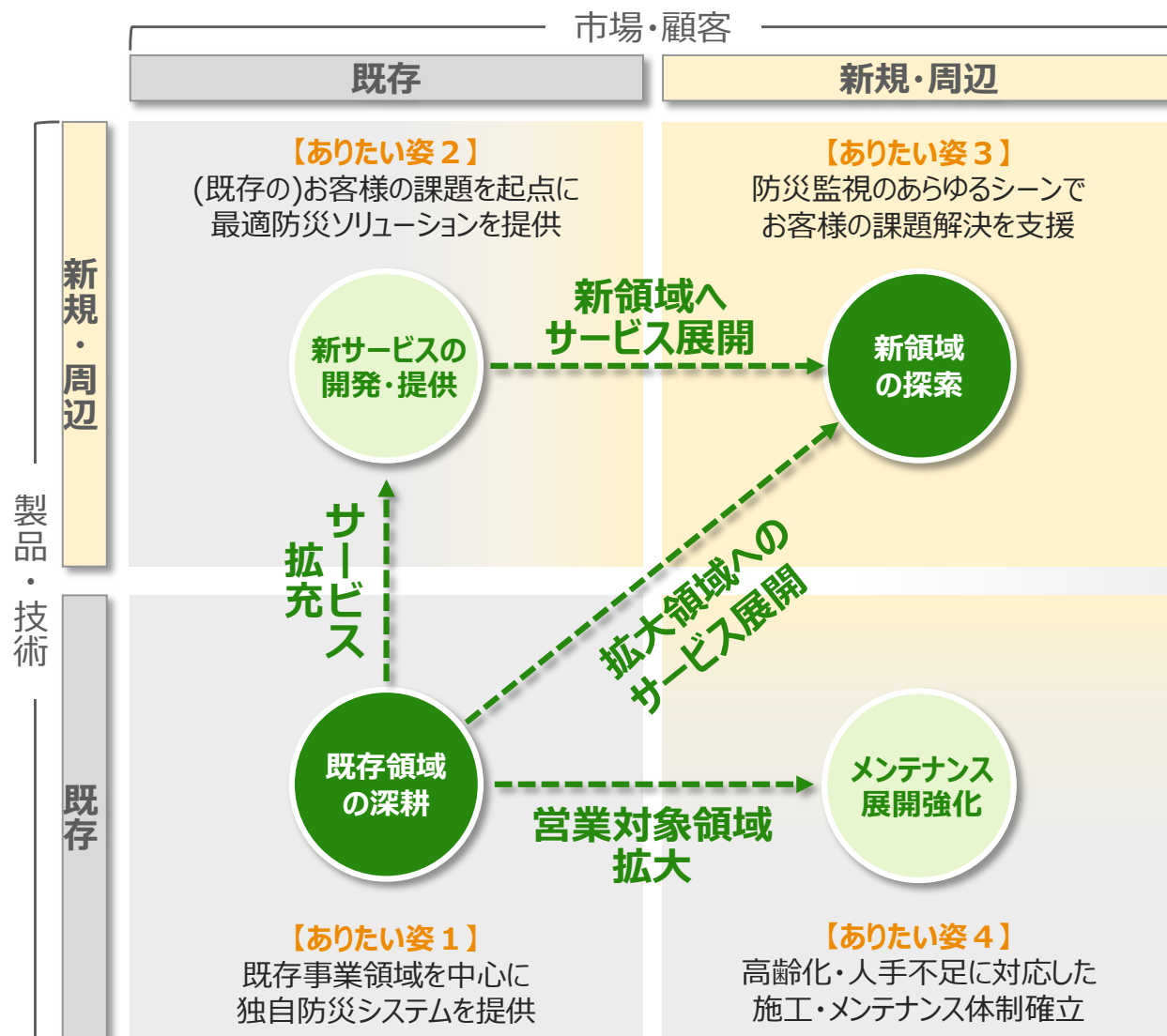
課題と技術
との紐づけが
できる力

能動的に動く

提供価値向上

社会課題の解決力向上

事業戦略 ～基本的な方向性～



ありたい姿5

総合防災メーカー
として災害全般へ
事業領域拡大



「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

目指す姿

自律と挑戦

- 自ら考え、自ら動き、持てる力を存分に発揮して挑戦している
- 自らの能力や専門性を自律的に磨き続けている

社員総活躍

- 社員全員が持てる力を最大限発揮している
- 能力や専門性、挑戦と創意の発揮（行動と成果）に正しく報いている

成長サイクルの加速

個人



個人の成長

会社



会社の成長

活躍・成長を支える
環境・風土

活躍・成長基盤の整備

- 個々の希望や事情に合わせてより柔軟に働くことができている
- 一人ひとりの個性が尊重され、多様な人財による共創が生まれている

方針

働き方改革

多様・柔軟な働き方の強化と、業務の省力化・合理化を推進する

採用

中長期ビジョンに沿った人財要件を定め、既存領域とともに新領域の人財採用力を強化する

人事制度

安心感のある人事制度を基盤に、期待する役割と成果の程度に応じた評価・処遇を両立させる

異動配置

人員配置の最適化を進めるとともに、個人・会社両視点に立った計画的な異動を実現する

育成

成長スピードを向上させる機会を提供し、社員自身が選択する

ダイバーシティ

多様な能力・価値観を持つ人財を受け入れ、活躍・成長する機会を創出・提供する



「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

未来投資計画

ステージⅡ（2023/3～2025/3）

研究開発

成長投資・M&A・基盤整備

人財投資

サプライチェーン強化
環境投資

対売上高比率：3%※

投資額：300億円

※2029/3期 時点

[参考] 三鷹工場の新設



<概要>

- 稼働開始：2022年6月
- 棟数：1棟
- 階数：4階
- 敷地面積：4,968㎡（旧工場の約3倍）
- 延床面積：10,363㎡（旧工場の約5倍）

生産性向上へ



「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

防災・安全のあり方を変革

期待の先をカタチにしたソリューション提案

⇒ デジタルトランスフォーメーション（DX）

ステージⅡ（2023/3～2025/3）

ステージⅢ（2026/3～2029/3）

サービスのカタチ変革

- ・クラウドを起点としたサービス展開拡充
- ・クラウドを起点としたつながる製品群を整備

お客様対応変革

- ・点検要員省力化に向けたシステム構築への取り組み
- ・施工要員省力化に向けたシステム構築への取り組み

社内デジタル化による間接部門の合理化

- ・全社ペーパーレス化 etc…

⇒ 基盤強化

クラウドプラットフォーム強化・クラウド運用/提案型サービス提供体制の強化・個人スキル向上

サステナビリティ経営推進による企業価値向上を前提とした課題対応

大切な命や財産・環境を守り、誰もが笑顔で暮らせる社会を実現するために

環境 E



- 省エネルギー・再生可能エネルギー対応
- グリーン調達推進・環境に配慮した原材料選定
- 脱フッ素への取り組み推進
- 温室効果ガスの発生抑制
- 廃棄物排出量の削減・再生資源利用率向上

社会 S



- 安全・安心の追求により顧客満足の上昇
- 文化財防災への取り組み推進
- 品質管理の徹底で品質事故ゼロの実現
- 安全衛生の徹底で労災ゼロ実現・健康経営の推進
- 協力会社との協働強化で持続的成長の実現
- ダイバーシティ&インクルージョン・ワークライフバランスの推進
- 社員教育強化や多様な働き方推進による自己実現機会の拡大

ガバナンス G



- コーポレート・ガバナンス／内部統制の徹底
- リスクマネジメント
- コンプライアンス

ステージⅡ 期間の2025/3期までに連結配当性向を40%とすることを目標とし、
 安定的かつ継続的な株主還元の充実を目指します。

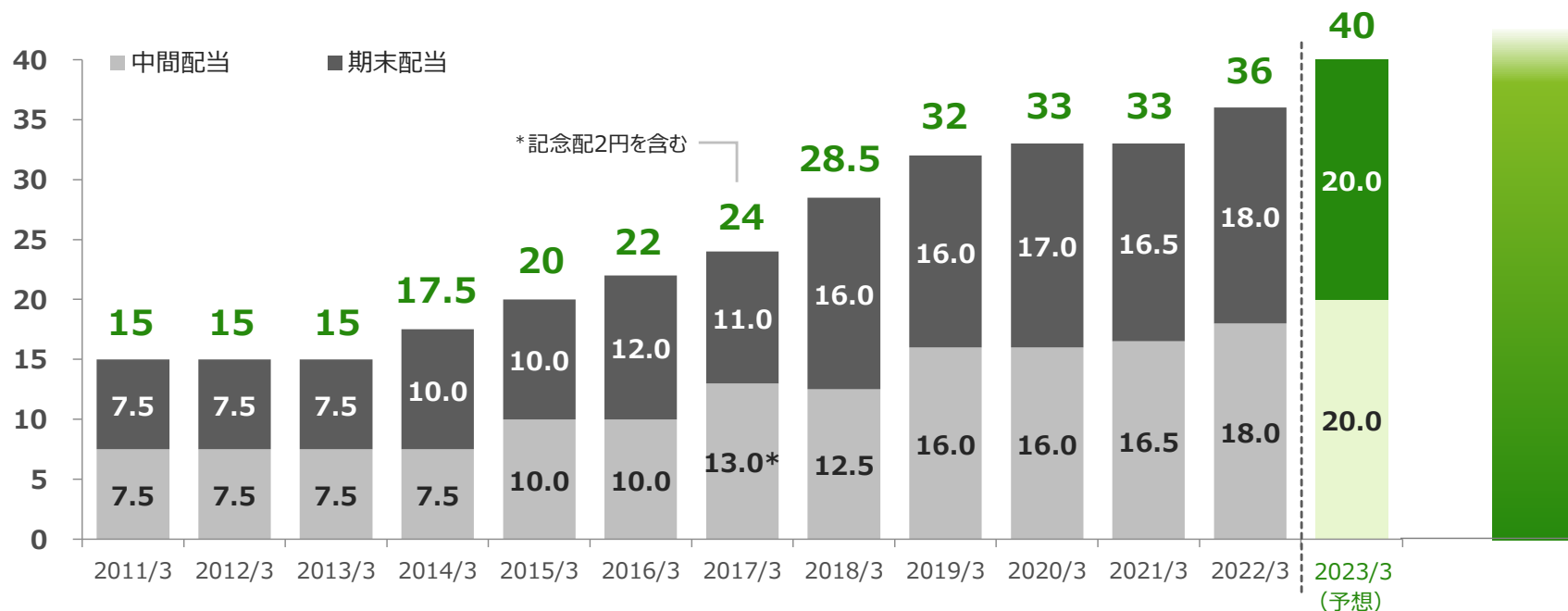
1株あたり配当金の推移 (単位：円)

* 1979/3期以降、特別配当を除き減配をしていません。

ステージⅡ 期間
 (2023/3～2025/3)

連結配当性向

40%を目指す



配当性向	48.5%	50.6%	31.4%	21.9%	21.4%	20.0%	20.8%	18.8%	24.7%	18.9%	26.1%	23.2%	33.7%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------



数値目標

中長期経営目標

(単位：億円)

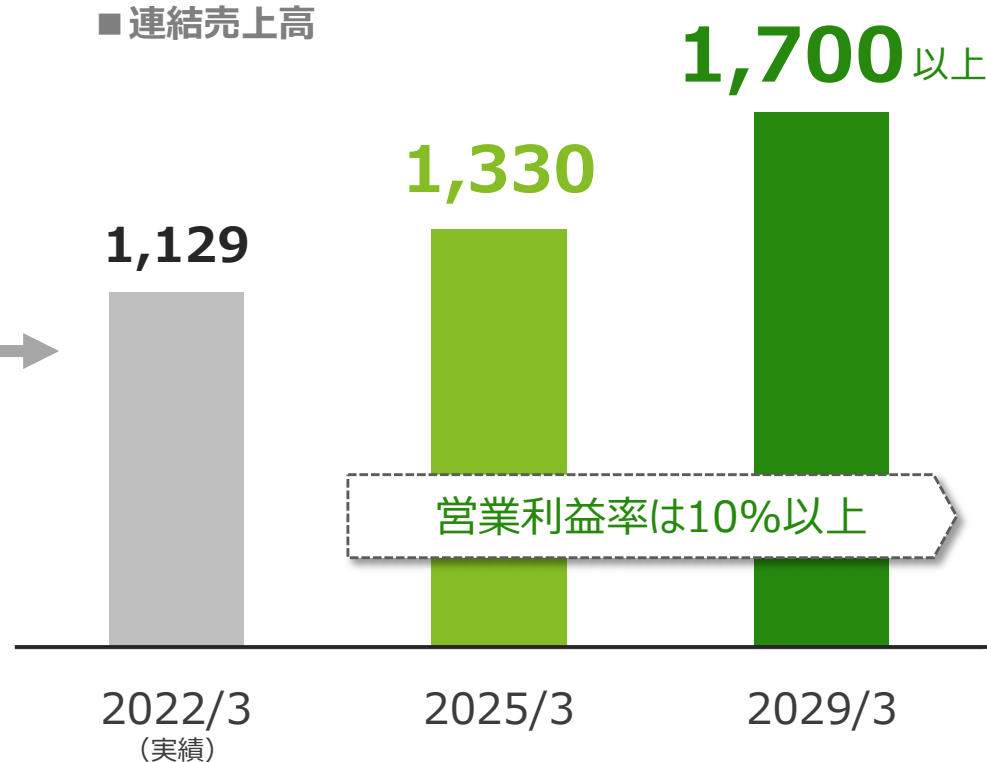
ステージⅡ

ステージⅢ

■ 連結売上高

(単位：億円)

	2022/3 (実績)
受注高	1,109
売上高	1,129
営業利益 (利益率)	126 (11.2%)
経常利益	131
親会社株主に帰属する 当期純利益	93
ROE	8.8%



期待の先をカタチに



transformation

3. 2023年3月期 連結業績予想

2023年3月期 連結業績予想

(百万円)

	2022/3	2023/3	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率
受注高	110,948	112,000	+ 1,051	+ 0.9%
売上高	112,913	111,000	△1,913	△1.7%
売上総利益	38,762	36,700	△2,062	△5.3%
(利益率)	(34.3%)	(33.1%)	(△1.2pt)	—
販管費	26,128	26,600	+ 471	+ 1.8%
営業利益	12,633	10,100	△2,533	△20.1%
(利益率)	(11.2%)	(9.1%)	(△2.1pt)	—
経常利益	13,155	10,400	△2,755	△20.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,351	7,150	△2,201	△23.5%
EPS (円)	155.07	118.54		
ROE	8.8%	6.5%		

受注高は前期並みを想定

部品の供給制約による影響が懸念されるなかでも、
前期並みの受注高を目指す

前期に好採算の案件が集中した影響などから減益

前期は比較的採算性の高い案件が集中
原材料価格の上昇の影響なども懸念される

過去最高の受注残高を背景に期初予想を維持

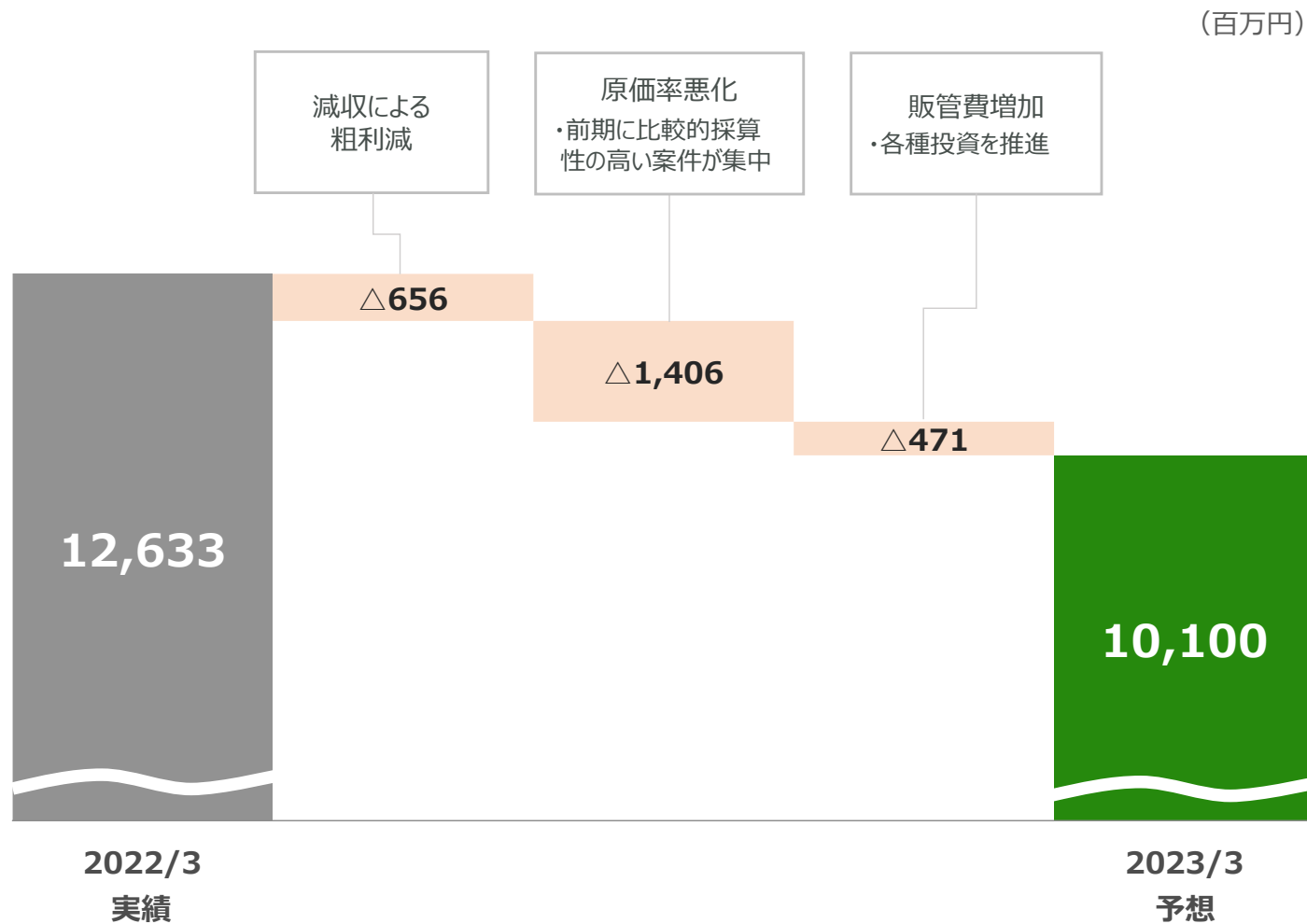
第2四半期までの売上高、利益は計画を下回ったが、
受注残高は第2四半期末として過去最高の水準まで積み上がった

セグメント別売上高・利益予想

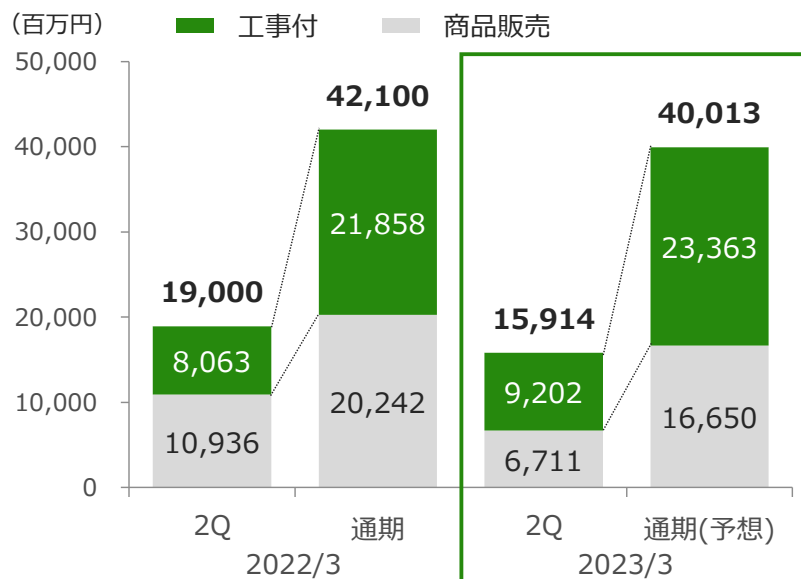
(百万円)

		2022/3	2023/3	前期比	
		実績	予想	増減額	増減率
火災報知設備	売上高	42,100	40,013	△2,086	△5.0%
	セグメント利益	8,617	6,707	△1,910	△22.2%
	(利益率)	(20.5%)	(16.8%)	(△3.7pt)	—
消火設備	売上高	39,715	37,618	△2,097	△5.3%
	セグメント利益	7,197	5,837	△1,359	△18.9%
	(利益率)	(18.1%)	(15.5%)	(△2.6pt)	—
保守点検等	売上高	26,300	27,690	+1,390	+5.3%
	セグメント利益	4,854	5,625	+771	+15.9%
	(利益率)	(18.5%)	(20.3%)	(+1.9pt)	—
その他	売上高	5,120	6,000	+880	+17.2%
	セグメント利益	46	132	+85	+183.0%
	(利益率)	(0.9%)	(2.2%)	(+1.3pt)	—
消去または全社	売上高	△322	△322	—	—
	セグメント利益	△8,081	△8,202	△120	—
連結	売上高	112,913	111,000	△1,913	△1.7%
	営業利益	12,633	10,100	△2,533	△20.1%

営業利益予想増減分析

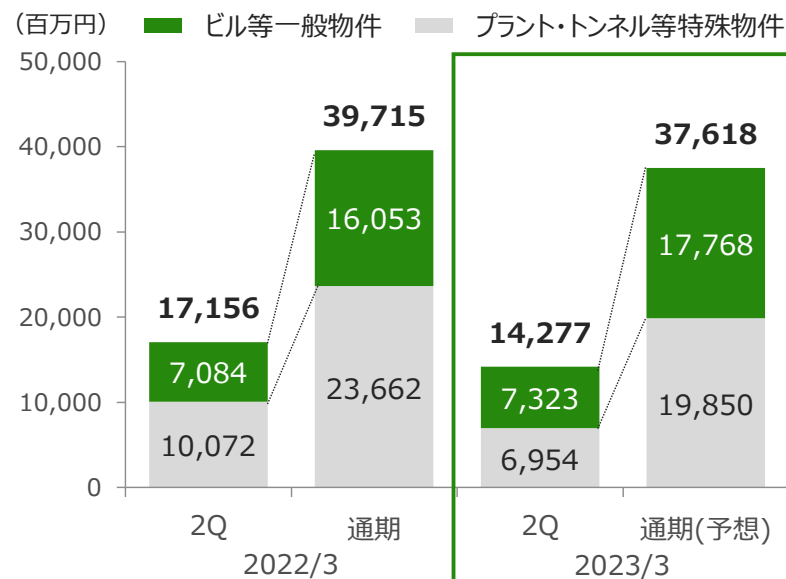


火災報知設備



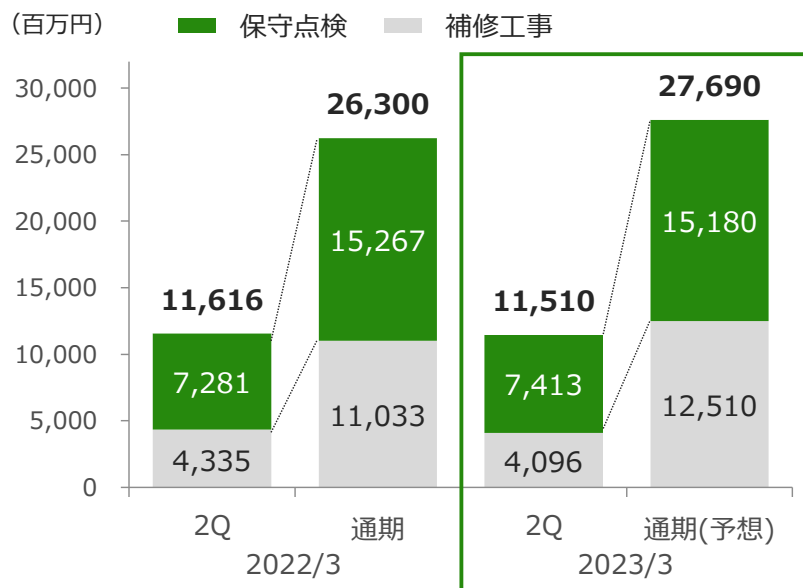
- 前期に大型案件が集中した影響などから、減収の見込み。

消火設備



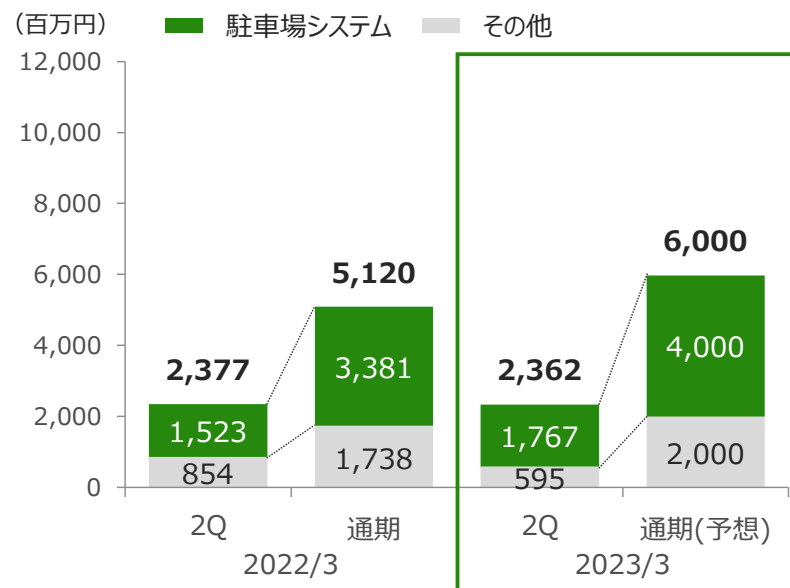
- 大型物件の減少から減収の見込み。
次期の増収につなげるため受注獲得に努める。

保守点検等



- 補修工事の計上を積み上げることなどにより、安定的な業績の伸長を見込む。

その他



- コロナ禍のなか厳しい状況が続いているが、一定の回復を見込む。

期待の先をカタチに



transformation

4. 参考資料



防災システムを一貫体制で提供する総合防災企業

➤ 商号	能美防災株式会社
➤ 本店所在地	東京都千代田区九段南四丁目7番3号
➤ 設立	1944 [昭和19]年 5月 5日 ※創立は1916年 [大正5年] 12月
➤ 代表者	代表取締役社長 岡村 武士
➤ 資本金	13,302百万円 ※2022年3月末
➤ 従業員数	2,635名 <連結> ※2022年3月末
➤ 事業内容	防災に関する受託実験・企画・提案 各種防災設備、システムの企画、開発、設計、施工、保守 上記機器の設計、製造、販売 駐車場車路管制システムの設計、製造、施工、販売及び保守

創立100周年

- ↑
- 2022 東京証券取引所プライム市場に上場
- 2021 VRコンテンツ「火災臨場体験VR～混乱のオフィス～」をリリース
- 2019 クラウド型防災支援ソフト「TASKis」を発売
- 2018 中・大規模建物向け防災システム「R-26C」を販売開始
- 2017 妻沼東事業所に、展示施設「能美テクノロジーメヌマ」を開設、メヌマ工場を拡大
- 2016 消火剤噴霧自動消火システム「SPlashα」を販売開始
- 2014 「リング型表示灯付発信機」がグッドデザイン金賞を受賞
- 2013 画像処理煙検知システムを販売開始
- 2010 三郷市に研究開発センターを開設
- 2009 火災予兆検知システム「PROTECVIEW」を販売開始
- 2006 セコム株式会社を引受先とする第三者割当増資を実施
- 2004 住宅用火災警報器「まもるくん10」を販売開始
- 2002 自動試験機能付P型自動火災報知システム「進P」を販売開始
- 1995 中国に合併会社「北京能美西科姆消防設備有限公司」を設立
- 1991 東京証券取引所市場第一部に指定替え
- 1987 青函トンネルに防災設備、瀬戸大橋に消火設備を設置
- 1974 LNG基地防災システムを開発
- 1968 霞が関ビルディングに防災設備を設置 <超高層ビルとして国内初>
- 株式上場 ○ 1962 名神高速道路の梶原・天王山トンネルに防災設備を設置 <高速道路トンネルとして国内初>
東京証券取引所市場第二部に上場
- 1936 皇居に火災報知設備を設置
- 1933 三十三間堂に火災報知設備を設置 <国宝として国内初>
- 1924 前年の関東大震災を契機に自動火災報知機による防災事業開始
- 創立 ○ 1916 能美輝一、能美商会を創立



<R-26C>



<能美テクノロジーメヌマ>



<メヌマ工場>



<研究開発センター(三郷)>



<リング型表示灯付発信機>



<PROTECVIEW>



<能美輝一>



<宮中奥御殿（皇居）完工記念>



火災報知設備

自動火災報知設備、環境監視システム、防火・防排煙設備等の製造販売及び取付工事を実施

【主要営業品目】

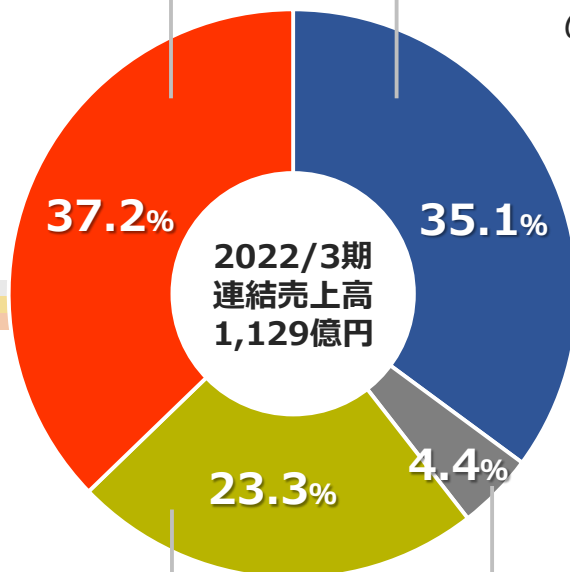
- 火災報知設備
- ガスもれ警報設備
- 避難誘導設備
- 環境監視システム
- 防火・防排煙設備
- 非常用放送設備
- 住宅防災システム

消火設備

スプリンクラー設備、泡消火設備、プラントやトンネルの防災システム等の製造販売及び取付工事を実施

【主要営業品目】

- スプリンクラーなど消火設備
- プラント防災システム
- トンネル防災システム



各種防災機器に係る
保守点検・補修業務

保守点検等

駐車場車路管制システムの
取付工事・保守 等

その他

総合防災力

研究・開発 ⇒ 製造 ⇒ 営業・設計 ⇒ 施工 ⇒ メンテナンスまで
一貫した責任体制でのサービスを全国に提供可能

一貫した責任体制



幅広い品揃えにより、様々な施設、
防災ニーズに対応が可能



長い社歴の中で強みが磨かれた5つの要素

- 1 総合防災に関する開発、設計、施工等の『**技術力**』
- 2 豊富な実験により蓄積された火災に関する『**ノウハウ**』
- 3 細かな工程管理や対応等、ハイレベルな『**施工力**』
- 4 実績とともに築かれた関係各所からの『**信頼**』
- 5 日本全国に敷かれた充実した『**代理店網**』

※あらゆる火災発生状況を想定したシミュレーション

ラック式倉庫
火災実験



自動車塗装ブース
火災実験



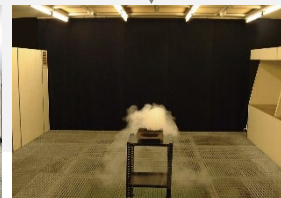
高発泡消火実験



煙の流動実験



クリーンルームでの
発煙実験





本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、
能美防災およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、
この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、
本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。